



平成25年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月2日

上場取引所 東

上場会社名 日本フィルコン株式会社

コード番号 5942

URL <http://www.filcon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 岳敏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画財務部長 (氏名) 齋藤 芳治

(TEL) 042-377-5711

四半期報告書提出予定日 平成25年4月9日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第1四半期の連結業績 (平成24年12月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第1四半期	5,147	2.6	202	—	358	—	249	—
24年11月期第1四半期	5,015	△10.8	△217	—	△177	—	△140	—

(注) 包括利益 25年11月期第1四半期 1,044百万円(—%) 24年11月期第1四半期 13百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第1四半期	11.26	—
24年11月期第1四半期	△6.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第1四半期	30,325	12,017	39.0
24年11月期	29,112	11,038	37.3

(参考) 自己資本 25年11月期第1四半期 11,816百万円 24年11月期 10,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	—	—	3.00	3.00
25年11月期	—	—	—	—	—
25年11月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想 (平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,600	△3.3	300	—	300	—	200	—	9.04
通期	21,600	0.0	600	—	700	863.6	500	—	22.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年11月期1Q	22,167,211株	24年11月期	22,167,211株
25年11月期1Q	34,967株	24年11月期	34,967株
25年11月期1Q	22,132,244株	24年11月期1Q	22,132,520株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記情報）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末に発足した新政権による経済政策への期待から金融市場において円安と株高が進展する等、一部では景気後退局面から回復の兆しが見られましたが、欧州債務問題の長期化や新興国経済の減速といった世界経済の低迷を背景に、依然として国内経済は低調に推移し先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは、国内およびアジア地域を中心とした拡販活動に注力するとともに、厳しい環境下での収益確保を目的として、全社的なコスト低減活動や生産体制の再編による事業構造の改善と新製品の開発活動を継続して実施いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高5,147百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は前期末に実施した希望退職による人件費の減少と全社的なコスト低減活動により、売上原価率は前年同期に比べ4.7ポイント低下し、販売費及び一般管理費は135百万円減少したことにより202百万円（前年同期営業損失217百万円）となりました。経常利益は、円安を要因として為替差益が前年同期に比べ112百万円増加したこと等により358百万円（前年同期経常損失177百万円）、四半期純利益は249百万円（前年同期四半期純損失140百万円）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①産業用機能フィルター・コンベア事業

製紙製品分野では、主要顧客である国内紙・パルプ産業は、国内需要の低迷により依然として厳しい状況で推移いたしました。このような状況のもと、当社グループは、顧客満足度の向上を目的とした高付加価値製品の開発と市場投入を継続し、国内外での拡販活動を積極的に展開するとともに、タイ王国生産子会社FILCON FABRICS & TECHNOLOGY CO., LTD.を活用した生産体制の再編を継続して実施いたしました。しかしながら当分野の売上高は、国内市場の低迷を反映し前年同期に比べて微増と低い水準に留まりました。利益面では国内における人件費の負担減少により売上原価と販売費及び一般管理費が減少したこともあり、前年同期に比べて収益性は改善いたしました。

その他の産業分野では、オーストラリアにおける防蟻施工用ステンレス製網の販売数量が住宅着工件数回復の遅れもあり低調に推移いたしましたが、海外向け材料販売や石油採油用スクリーン、また化学メーカー向けニッケル製網の売上高が計画数値を上回る等、総じて堅調に推移いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は3,815百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は381百万円（前年同期比59.5%増）となりました。

②電子部材・マスク事業

エッチング加工製品分野では、業績の早期改善に向け、大判タッチパネル用製品や医療機器向け製品等、当社の加工特性を活かした製品の受注活動と、効率的な生産体制による事業運営に注力いたしました。結果、前年同期に比べて売上高は減少いたしましたが、前期末の人員減少にともなう生産体制の再編・縮小により収益性が改善いたしました。

マスク製品分野では、MEMS関連等の非半導体分野向け製品は順調に推移いたしましたが、主要得意先である国内半導体産業の低迷もあり売上高は減少いたしました。利益面では、設備リース料等の製造固定費減少により、前年同期並の利益となりました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は873百万円（前年同期比9.7%減）、営業損失は40百万円（前年同期営業損失188百万円）となりました。

③環境・水処理関連事業

水処理製品分野では、震災復興案件を含め、学校プールを中心としたプール本体及び濾過装置と工業用クロフタ排水処理装置の受注活動を積極的に展開するとともに、当期首に実施した、子会社である株式会社アクアプロダクトへの事業統合効果を最大限に発揮すべく、販路の拡大や新製品の開発に注力いたしました。

その他の分野では、震災からの港湾復旧や放射性廃棄物保管容器に使用される高比重コンクリート「Gコン」の受注活動に引き続き注力いたしました。

結果、多くの案件の工事完成による売上高計上時期が第2四半期に集中していることもあり、当セグメントの外部顧客への売上高は217百万円（前年同期比3.3%増）、営業損失は17百万円（前年同期営業損失75百万円）となりました。

④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、旧大阪営業所跡地の再開発事業である賃貸マンション建築工事が、平成25年3月の竣工に向け順調に進行いたしました。また、前期に完成し賃貸を開始した池尻ビルの賃料収入の増加により、売上高及び営業利益は、前年同期に比べて増加いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は240百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益は171百万円（前年同期比36.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べ354百万円増加し、13,846百万円となりました。これは主として、仕掛品が115百万円、原材料及び貯蔵品が74百万円、その他の資産が202百万円それぞれ増加し、現金及び預金が119百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ858百万円増加し、16,478百万円となりました。これは主として、有形固定資産が439百万円、投資有価証券が312百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,212百万円増加し、30,325百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ728百万円増加し、11,023百万円となりました。これは主として、短期借入金が1,594百万円、1年内返済予定の長期借入金が415百万円、賞与引当金が211百万円それぞれ増加し、前連結会計年度末に計上した希望退職関連費用等の支払いにより未払金が1,332百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ493百万円減少し、7,284百万円となりました。これは主として、長期借入金が558百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ234百万円増加し、18,308百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ978百万円増加し、12,017百万円となりました。これは主として、利益剰余金が182百万円(四半期純利益249百万円、剰余金の配当66百万円)、その他有価証券評価差額金が211百万円、為替換算調整勘定が560百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年11月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間、通期ともに平成25年1月11日公表の業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,565,978	2,446,474
受取手形及び売掛金	5,838,737	5,892,859
商品及び製品	3,095,043	3,128,075
仕掛品	670,029	785,667
原材料及び貯蔵品	1,023,212	1,097,917
その他	375,902	578,411
貸倒引当金	△76,601	△82,904
流動資産合計	13,492,303	13,846,501
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,712,773	4,879,904
機械装置及び運搬具（純額）	2,845,627	3,341,826
土地	3,581,307	3,615,167
その他（純額）	721,249	463,144
有形固定資産合計	11,860,958	12,300,043
無形固定資産		
のれん	866,617	891,579
その他	95,018	102,065
無形固定資産合計	961,636	993,645
投資その他の資産		
投資有価証券	1,573,252	1,885,452
リース投資資産	519,966	515,288
その他	716,147	797,049
貸倒引当金	△11,386	△12,489
投資その他の資産合計	2,797,980	3,185,301
固定資産合計	15,620,575	16,478,989
資産合計	29,112,878	30,325,491

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,678,604	2,693,373
短期借入金	1,898,569	3,492,917
1年内返済予定の長期借入金	2,607,362	3,022,931
未払金	1,669,743	337,113
未払法人税等	25,861	81,591
賞与引当金	54,206	266,080
役員賞与引当金	11,420	—
その他	1,349,740	1,129,592
流動負債合計	10,295,509	11,023,600
固定負債		
長期借入金	4,018,639	3,460,625
退職給付引当金	397,666	419,400
役員退職慰労引当金	303,613	308,959
長期預り敷金保証金	1,955,426	1,914,292
資産除去債務	108,492	108,566
その他	994,635	1,072,882
固定負債合計	7,778,474	7,284,728
負債合計	18,073,983	18,308,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,685,582	2,685,582
資本剰余金	1,912,324	1,912,324
利益剰余金	7,661,077	7,843,821
自己株式	△28,062	△28,062
株主資本合計	12,230,920	12,413,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△172,553	39,119
為替換算調整勘定	△1,196,824	△636,116
その他の包括利益累計額合計	△1,369,377	△596,996
少数株主持分	177,351	200,493
純資産合計	11,038,894	12,017,161
負債純資産合計	29,112,878	30,325,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)
売上高	5,015,102	5,147,595
売上原価	3,502,067	3,350,423
売上総利益	1,513,034	1,797,172
販売費及び一般管理費	1,730,557	1,594,619
営業利益又は営業損失(△)	△217,522	202,552
営業外収益		
受取利息	1,331	402
受取配当金	10,066	10,808
為替差益	9,113	121,999
持分法による投資利益	37,619	40,179
その他	40,918	31,769
営業外収益合計	99,049	205,158
営業外費用		
支払利息	34,524	37,221
その他	24,581	12,337
営業外費用合計	59,106	49,559
経常利益又は経常損失(△)	△177,579	358,151
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△177,579	358,151
法人税等	△37,723	106,282
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△139,856	251,869
少数株主利益	561	2,728
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△140,417	249,141

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△139,856	251,869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97,715	211,673
為替換算調整勘定	47,237	529,705
持分法適用会社に対する持分相当額	8,202	51,416
その他の包括利益合計	153,155	792,794
四半期包括利益	13,299	1,044,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,279	1,021,522
少数株主に係る四半期包括利益	3,019	23,141

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,621,723	968,000	210,572	214,806	5,015,102	—	5,015,102
セグメント間の内部 売上高又は振替高	357	—	607	—	964	△964	—
計	3,622,080	968,000	211,179	214,806	5,016,066	△964	5,015,102
セグメント利益 又は損失(△)	239,376	△188,446	△75,959	125,478	100,449	△317,972	△217,522

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△317,972千円は、内部取引にかかわる調整額60千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△318,032千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,815,820	873,713	217,551	240,510	5,147,595	—	5,147,595
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,629	—	—	—	1,629	△1,629	—
計	3,817,449	873,713	217,551	240,510	5,149,224	△1,629	5,147,595
セグメント利益 又は損失(△)	381,732	△40,348	△17,046	171,160	495,498	△292,945	202,552

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△292,945千円は、内部取引にかかわる調整額△1,629千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△291,316千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。